

Japanese Association of Veterinary Anatomists

News letter

Series 4 Number 1

March, 1995

第19回

日本獣医学会

(於東京大学教養学部)

三月三十一日～四月二日

例年春の獣医学会は日本都市センターで開催されるが本年はそこが改修中の為、東京大学の駒場キャンパスで行われることになった。

既に獣医学雑誌57巻1号(一九九五年二月)に開催日程が発表されているように、解剖学分科会は一般演題は45題で、シンポジウムが7題(下記コラム参照)の予定をしている。一般演題の1、18が3月31日(金)の午前9時～12時、19、33が同日の午後14時30分～17時であり、34、45は翌日4月1日(土)の午後15時～17時である。その後に分科会集会を予定しているのでぜひ御出席いただきたい。

分科会集会での予定議題の中には、分科会の名称の変更(4頁参照)、分科会の会長・副会長・幹事の選挙結果(3頁参照)、世界家畜解剖学会(WAVA)の副会長候補の推薦、第25回世界獣医学会(横浜)における家畜解剖の一般演題およびシンポジウム(野生動物の解剖)についての報告、なほ多岐にわたる提案が含まれていることを前もって御承知下さい。学生会員も参加を歓迎します。

教科書についての

シンポジウムの問題点

前号でお断りしたように、現在使用中の解剖・組織・発生についての教科書についてのシンポジウムを前回の北里大学でも企画したが、都合で中止した経過がある。

極めて小集団である我が国の家畜解剖学の数々の仲間が現行教科書を検討する場には、どうしても先着しないし同僚の方々の著作ないし訳書を批評することを含まれることになるので、その点を強く意識される向きもあつたのが一つの問題点であつた。

また意識的に獣医解剖学を言わず家畜解剖学と呼んでいる場合があるように、畜産分野の解剖学の方々の配慮もするべきであるという指摘をいただいたことが二つ目の理由であつた。

しかしながら、年毎にシラバスをつくるのが強い要請になっている現時点で、他の科目よりもはるかに記載容量が多い教科書について、全国的規模で検討をはじめることでもた重要なきとである。

最終目標は訳書をやめオリジナルな

教科書を全国版でつくることにあるが、まず問題点を検討することからはじめたい。

因みに他の分科会では実習書を全国共通で作成している例があるが、獣医組織学では各大学で使用している材料の動物数がそれぞれ大いに異なっている。

例えば鶏の比重が高いとか、猪と大動物であるとかで、材料次第で実習内容がきめられている。これはこれで見直しが必要である。

解剖学分科会シンポジウム

4月1日(土) 第7会場 9:00~12:00

獣医解剖学・組織学・発生学の教科書(テキスト)について

座長:牧田登之(山口大)、林良博(東大)

- | | |
|------------------------------|-----------|
| A-1S.総合解剖学・視点と構想 | 和栗秀一(北里大) |
| A-2S.本学における解剖学教育と牛の解剖学 | 醍醐正之(日獣大) |
| A-3S.Dellmann編・新版「獣医組織学」について | 牧田登之(山口大) |
| A-4S.犬の断層解剖と画像—応用解剖学の観点から— | 月瀬東(日大) |
| A-5S.家畜発生学—発生メカニズムと奇形— | 上原正人(鳥取大) |
| A-6S.「イヌの解剖アトラス」と臨床解剖学 | 橋本善春(北大) |
| A-7S.加藤嘉太郎著「家畜比較解剖図説」について | 林良博(東大) |

今後の学会開催予定機関

第120回	1995 (秋)	鳥取大学	8/29~8/31
第121回	1996 (春)	日生研 於(麻布大学)	4/2~4/4
第122回	1996 (秋)	帯広畜産大学	
第123回	1997 (春)	日本大学	
第124回	1997 (秋)	鹿児島大学	
第125回	1998 (春)	競走医総研	
第126回	1998 (秋)	酪農学園大学	

第10回日本解剖学会
ミニシンポジウム

4月3日(月)
19.00~21.00

周知のように4月1日(土)~4日(火)には第10回日本解剖学会が東京大学本郷キャンパスで開催される。そのうちミニシンポジウムの一つとして「日本の野生動物(哺乳動物)の解剖」を東大山上会議所で下のような演者によって開催する。4月3日の夜のこと、獣医学会も終った直後で参加者の確保が案じられるが、秋に東大農学部7号館で開催予定のANATOMY OF WILD LIFEというシンポジウム

のリハーサルも兼ねているので、分科会委員の参加をお願いします。

関連集会案内

☆なお4月1日にも解剖教育の現状と特集への展望」というシンポジウムがあり、林良博委員が「獣医解剖学の教育について」シンポジウムとして発表するので御来聴をお願いしたい。

☆プラスティネーション展

3月30日~4月4日 10:00~16:00
東大総合研究資料館展示ホール

☆ヒトと動物の関係学会

4月2日 10:00~17:50
東大駒場90番講堂

(参加費 3000円)

☆ケンパ系・免疫系研究会

3月31日 15:00~17:00
日本医大

☆かたちをめぐる生体科学

4月5日 13:00~17:00
順天堂大学下谷館6階

☆日本野生動物医学会

設立発起人会
4月1日 18:00~19:30
上野動物園ホール

シンポジスト一覧

- 1.ニホンイノシシの頭蓋に関する形態学的研究 林 良博 (東大)
- 2.ニホンオオカミの頭蓋に関する形態学的研究 遠藤英紀
(国立科学博物館)
- 3.ニホンカモシカの解剖 松尾信一、大島浩二 (信州大)
- 4.日本猿の解剖について 池内真紀子、牧田登之、藤野健
(山口大・東京都老人研)
- 5.ニホンシカ(奈良公園)の生殖器官 山内昭二 (大阪府大)
- 6.ニホンカモシカ脳下垂腺の組織学 阿開泰郎、山本欣郎、
鈴木義孝 (岐阜大)
- 7.鯨の局所解剖(1)胃粘膜の組織像 牧田登之、山際大志郎、山根哲也、
加藤雅和、中西誠、(山口大)、石川創 (日本鯨研)
- 8.遺跡出土骨からみたわが国の野生動物
—とくに九州の縄文、弥生時代の哺乳類— 西中川 駿 (鹿児島大)
- 9.リュウキュウジャコウネズミの下肢筋系の解剖 高橋裕 (防衛医大)

New Book

'95年8月末発刊

世界獣医学会を記念して日本語版ついに発刊!!

メルク獣医マニュアル

診断、治療、予防、管理/ハンドブック

The Merck Veterinary Manual
Seventh Edition

発行人 山崎 隆夫 (東京大学農学部教授) 監修 藤野 健 (山口大学獣医学部教授) 監修 藤野 健 (山口大学獣医学部教授)

甲113 東京都文京区湯島2-1-20 TEL03-38181870 FAX03-38181804 株式会社 学窓社	犬の解剖 アトラス A4判 216頁 定価3,000円 送料別	猫の解剖学 A4判 110頁 定価1,300円 送料別	猫の解剖学 A4判 110頁 定価1,300円 送料別	犬の解剖学 A4判 110頁 定価1,300円 送料別	猫の解剖学 A4判 110頁 定価1,300円 送料別	犬の解剖学 A4判 110頁 定価1,300円 送料別	猫の解剖学 A4判 110頁 定価1,300円 送料別	犬の解剖学 A4判 110頁 定価1,300円 送料別	猫の解剖学 A4判 110頁 定価1,300円 送料別	犬の解剖学 A4判 110頁 定価1,300円 送料別	猫の解剖学 A4判 110頁 定価1,300円 送料別
---	---	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------

世界獣医学大会(WVC)

本年9月3日、9日に横浜で開催されるWORLD VETERINARY CONGRESS (会長 杉山文男)にはWAVA (国際獣医解剖学会)も構成学会の一つとして参加しており、シンポジウム、ポスターセッション、自由演題での発表を企画している。シンポジウムは左記の六名による演題を予定しており、牧田(山口大)がお世話をする事になっており、後二者については、林(東大)、西田(日大)が組織する。この他にWAVAとしての総会、夕食会も準備するようにWAVAの会長(SACK教授、コーネル大)から要請されており、現副会長の西田隆雄(日大)が準備を進めておられる。

シンポジウムは9月7日(木)にBホールで行われ、演題は次の通りである。

Symposium(S-8) Hall B 9:00-12:00
Anatomy of wildlife

- ① Anatomy of lion musculature
Barone リオン大学
- ② Anatomy of reptile
Evans コーネル大学
- ③ Anatomy of Japanese wild boars
Hayashi 東京大学
- ④ Anatomy of Japanese monkeys
Makita 山口大学
- ⑤ Anatomy of Japanese deer
Yamanouchi 大阪府大学
- ⑥ Hoof-structure of wild horses/ruminants
Budras ベルリン大学

World Veterinary Congress

4th Congress of the World Veterinary Anatomists
All Countries of the World
3-9 September, 1995, Yokohama, Japan



August 13-17, 1995 - Kansas City



Microscopy Society of America
53rd Annual Meeting

The Histochemical Society
40th Annual Meeting

組織本部によれば、9月末日の国内会員登録のメド時点で、6000名をこえ、4月末日の海外会員の登録メド日までは予定を10000名、えて8000人程度になる予測のようである。同業者を含めると更に会場入場者は増えるものと思われる。

解剖学の現時点での講演申込は12題のうちビデオテープセッションが1題である。西田・林両先生が相談の上、大部分はポスターセッションということになった。ただ4月末日までの程度海外からの演題が来るかによって口演の部(9月6日ルームN)も用意されている。

来日予定の解剖学関係者としてコーネル大学エバンス教授、リオン大学バロン教授、ベルリン大学ブドラス教授、チューリッヒ大学シュエウエン教授の名があるので旧知の会員各位は満日中の御案内などの点でぜひ御協力いただきたい。

AAVAの55年学会

ベニルバニア(7月6-8日)

アメリカの獣医解剖学会(AAVA)のニューズレター(vol.13, No.2, 1994年冬号)によれば、今夏の学会はベニルバニア大学獣医学学校 Annual Biology学科で7月6日-8日開催される。

院生で発表者になる会員を、無料としている点が注目される。我々もこのようなポリシーを導入したいものである。

33回 Microscopy Society of America 49回 The Histochemical Society of America カンザス州(8月13-17日)

本年はMicroscopy Society of America (旧称 アメリカ電顕学会 EMSA) と Histochemical Society が合同で Microscopy and Microanalysis 95としてミズリー州カンザス市のコンベンションセンターで8月13日から17日にかけて開催される。

会長・副会長・幹事の選挙実行

前号のニューズレターで予告したように会長・副会長・幹事の選挙が延び延びになっていたがようやく本年2月に行われた。選挙管理委員会として月瀬東(日大)、九郎丸正道(東大)、有嶋和義(麻布大)の三先生が委員会を組織し、正会員全員に投票用紙を郵送された。3月3日の消印のあるものまでを有効とし、3月6日東京大学農学部において三委員全員の立ち会いのもとで開票が行われた。開票結果は委員長(月瀬先生)より三月二十一日の分科会集会を公表される。

投票総数は会長・副会長の選挙では二四票(うち白票二)で、幹事選挙(二名連記)では二四八票で(うち白票が八)あったという報告をつけている。

杉村誠副会長が御退官になって以来、この選挙が行われず変則的に今日まで来たことを会員諸兄に申訳なく思っていたが、ようやく区切りをつけることが出来た。前記の選挙管理委員会の先生方、また投票に参加していただいた会員の方々、御礼申し上げる。なおコンピュータのミスとはいえ、正会員のリストに二重に記載された方と、欠落していた方が各一名ずつ判明した。大変御迷惑をおかけしたことをこの場を借りて深くお詫言したい。

本選挙はすべて従来の分科会の規約により行われたが、選出された役員は現在準備されている新しい会則(四頁参照)が分科会集会で承認され次第、選挙を改めて行うこととなる移行的措置として就任したいたく予定であることを御了承いただきたい。

人物往来

- 昇任された会員の先生方
おめでとございませう。
- 選挙 川島由夫先生が教授に
昨年昇任されました。前号で御紹介せず失礼しました。
- 北海道大学 大倉副則行先生が獣医学部学生監学教授へ
- 麻布大学 有嶋和義先生が講義担当助教に
- 岩手大学 小川和重先生が助教へ
- 麻布大学 江口隆雄先生が助教へ

